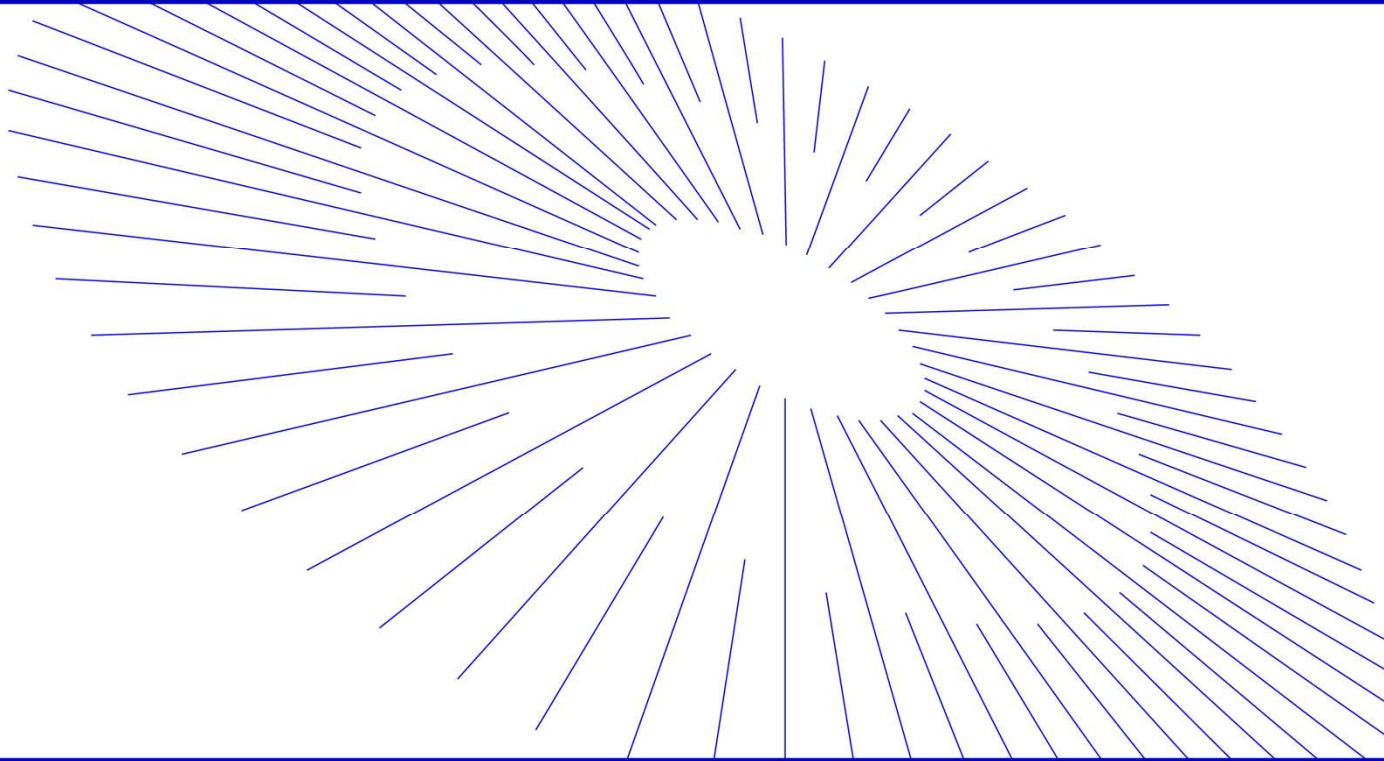


Edge2 V6.1 Release Note

2024/08/09



Edge2 v6.1 アップデート項目

| 種別 | 改善項目 | リリースエリア | 改善内容 | リリースVer | アップデート予定日 | 参考資料またはUIイメージ |
|------|--|---------|---|---------|-----------|---------------|
| 新機能 | 不要物除去改善 | 全ての国地域 | 現場にあるブルーシート等を除去する/しないの設定を追加します。除去できるシートの色などは参考資料をご確認ください。 | V6.1 | 8月21日 | P3 |
| | フライトマップ表示 | 全ての国地域 | i-con提出書類で80%以上のラップ率担保資料を出力可能とします。 | V6.1 | 8月21日 | P4 |
| | 160 [points/m2]の点群密度出力 | 全ての国地域 | 160 [points/m2]のモードを追加します | V6.1 | 8月21日 | P5 |
| | i-con 精度検証出力時の水平垂直精度 c s v、カメラキャリブ c s v を日本語化 | 全ての国地域 | 主に日本向け機能、i-conレポートの内容が言語設定に従って日本語設定であれば日本語で出力されます | V6.1 | 8月21日 | なし |
| | RTK処理に於いてもエッジの天面を検証点にする機能 | 全ての国地域 | RTK処理を行った場合でもPPK同様にエッジ設置位置を検証点として利用できるようになりました | V6.1 | 8月21日 | なし |
| 性能改善 | テクスチャの取れない領域での精度改善 | 全ての国地域 | 一部現場状況にて黒土部などでテクスチャが上手く検出できず、点群二重化が発生した事象への対処。 | V6.1 | 8月21日 | なし |
| | PCG94 対応(豪州向け) | 全ての国地域 | 新しいEPSGコードの対応 | V6.1 | 8月21日 | なし |



不要物として除去する対象を選択してください。

| カテゴリ | 除去 or 残す |
|-------|-------------------------------------|
| 土 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 低植生 | <input type="checkbox"/> |
| 路面 | <input type="checkbox"/> |
| 養生シート | <input type="checkbox"/> |

プロジェクトのデフォルトとして上記設定を上書きする。

キャンセル

(不要物除去設定)

養生シートを（残す）を選択すると現状の性能では主に（グリーンシート、ブルーシート）が除去されず残ります
 ※他の色のシートを認識するには、さらにAIの学習が必要です。



USBまたはクラウドへのi-con精度検証結果出力にてラップ率80%担保資料としてフライトマップが出力できるようになりました。

※ (png画像ファイルとして出力します)

※ 80%ラップ率は下記>9以上の色で計測範囲がカバーされている必要があります。

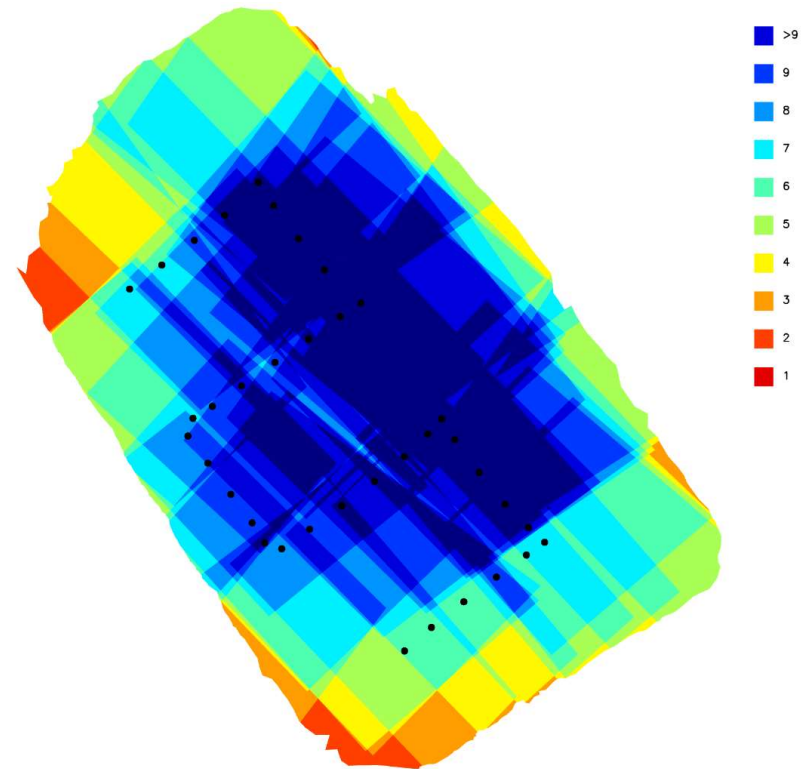
13:42 6月25日(火) I-Construction 精度検証結果

検証結果 誤差が±5.0cm以上のものは赤字で表示されます。

| 点群 | ポイント名 | X(N) | | | Y(E) | | | Z | | |
|------------|-------|------------|-----------|-------|--------|--------|--------|------|------|---|
| | | X(N) | Y(E) | Z | X(N) | Y(E) | Z | X(N) | Y(E) | Z |
| オルソ画像 | | | | | | | | | | |
| DSM | | | | | | | | | | |
| DTM | | | | | | | | | | |
| 不要物除去 | | | | | | | | | | |
| 垂直精度検証 | | | | | | | | | | |
| i-Con 精度検証 | | | | | | | | | | |
| | 1 | -43998.818 | 22788.380 | 5.726 | -0.008 | -0.026 | 0.001 | | | |
| | 2 | -44010.137 | 22804.140 | 5.688 | 0.019 | 0.024 | -0.025 | | | |
| | 3 | -44029.353 | 22807.970 | 3.453 | 0.013 | 0.012 | 0.003 | | | |
| | 4 | -44038.292 | 22798.711 | 3.657 | 0.018 | -0.003 | -0.019 | | | |
| | 5 | -44041.913 | 22792.020 | 3.746 | -0.005 | -0.006 | -0.002 | | | |
| | 6 | -44017.466 | 22787.213 | 3.578 | -0.017 | -0.005 | -0.018 | | | |
| | 7 | -44007.193 | 22774.822 | 3.614 | 0.006 | 0.011 | -0.014 | | | |
| | 8 | -43976.599 | 22771.210 | 5.544 | 0.010 | 0.012 | -0.012 | | | |
| | 9 | -43996.435 | 22748.865 | 3.810 | -0.010 | -0.013 | -0.003 | | | |
| | 10 | -43981.828 | 22751.557 | 6.618 | -0.022 | 0.017 | -0.004 | | | |

検証点ファイル再選択 検証点の確認・再編集

検証結果をUSBにコピーする 検証結果をクラウドに送信する



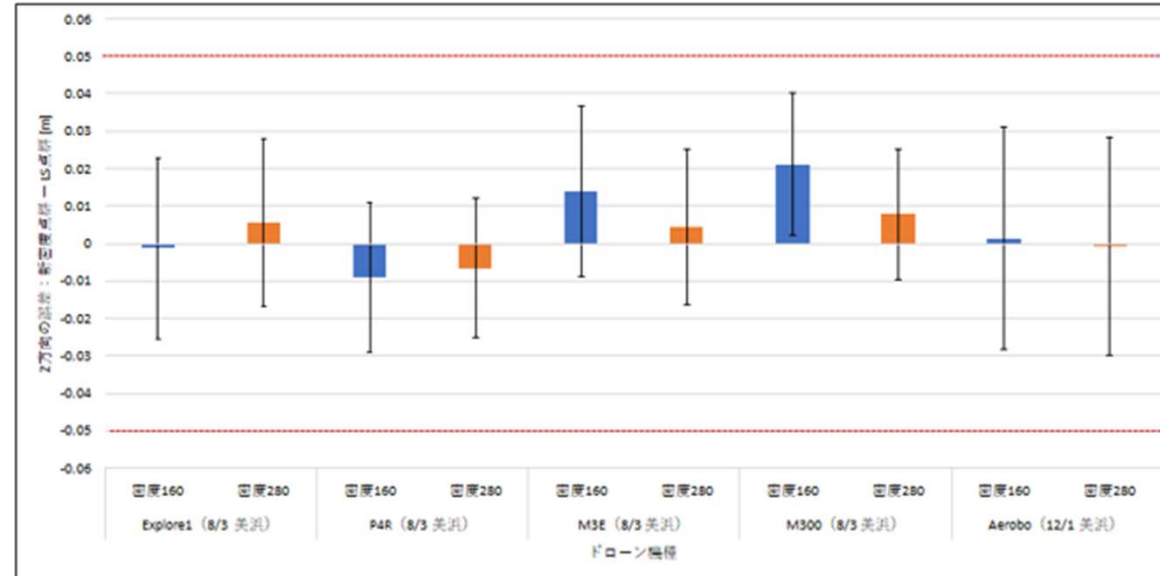
処理設定メニューにて160 [points/m²] を追加し 4 つの密度を出力できるようになりました。



- 新規点群密度の導入
 - 従来の超高密度⇔高密度の中間密度の導入
 - 新高密度として 160 [points/m²] を導入
 - 従来のEdge検収データに対して、「iCon精度」と「密度カバー率95%」を充足することを確認

※出来形にて確実に密度を担保する場合は超高密度を推奨しますが、計測範囲で十分に密度が担保できていれば、高密度で対応することも現場によっては可能です、高密度の場合は一度に生成可能なエリアが増加します。

ドローン機種毎のEdge v6 密度160・280点群とLS点群の比較結果



• アップデート手順

■v6.1

OTA名称：“6.9.2”

FW VERSION：“6.9.2”

OS VERSION：“4.1.5”

- ※IOS 17.5以上にIPADのOSアップデートすることを推奨いたします。

EDGE 2 FWアップデート、OSアップデートはバックグラウンドで自動で実施されます、
特にお客様で特別な操作は必要はありませんが、良好なネットワーク環境でのEDGE本体のON、OFFの操作のみ必要です。

※**配信およびダウンロード**はバックグラウンドで行われますので、EDGE 2稼働中であっても機能は制限されず通常通り使用可能です。

○下記にアップデート方法を記載致しますのでご確認ください。

1. 電源をONにする

※必要に応じて電源ON前にあらかじめSIMを挿入しておく、有線の場合は電源ON後の接続でも問題ございませんが、LANにセキュリティを介している場合はオンラインになりませんのでLANの場合はEDGE 2がオンラインになっていることをWEBのページを見るなどで確認してください。

2. FWのダウンロードが終了するまで待つ

有線LAN接続など、良好なネットワーク環境なら30分、LTEなどであれば1時間以上

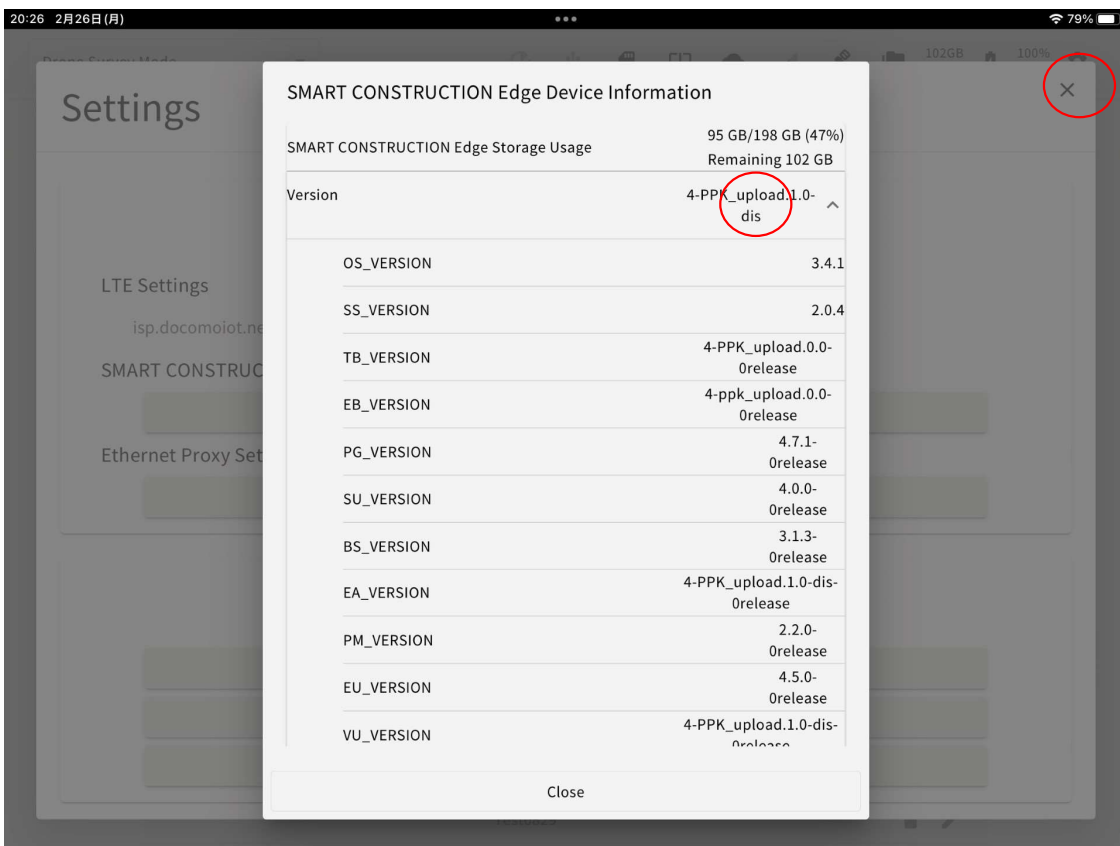
※回線速度は下り50Mbps程度を良好と想定しています、環境によっては3時間～4時間程度
長時間アップデートに時間が掛かる場合がありますので、ご注意ください。



3. 電源をOFF/ONする

4. FWファームウェアバージョンを確認する

設定画面→SMART CONSTRUCTION Edge本体情報から、アプリのバージョンが「案内された最新のver 0.0.0」になっていることを確認する
更新されていなかったら、1からやり直す。更新されていれば5に進む



5. OSのダウンロードが終了するまで待つ

有線LAN接続などの場合15分、LTE等であれば30分以上

※上記同様に回線環境に依存します。

6. 電源をOFF/ONする

7. OS_VERSIONを確認する

設定画面→SMART CONSTRUCTION Edge本体情報から、OS_VERSIONが「案内された最新のver 0.0.0」になっていることを確認する。更新されていなかったら、5からやり直す。更新されていれば終了となります

